

令和7年度第1回八千代市上下水道事業運営審議会指摘への対応

NO	委員の指摘	対応
1	水道事業、下水道事業の経営戦略、水道の再構築基本計画、耐震化計画、住民には色々な計画があってもよくわからないのではないか。例えば上位計画があって、その下にこの計画があるとか、その整理をしていただいたほうが良いのではないか。その計画はいつ策定して、どういう見直しをいつまでに行い、この経営戦略に反映しているとかの関連がわかりにくいので工夫していただいたほうがよいのではないか。	八千代市第3次水道事業経営戦略（案）、八千代市第3次公共下水道事業経営戦略（案）のP5において、経営戦略に関連する計画として視覚的にわかりやすくなるよう標記を追記しました。
2	水道事業において令和9年度に21.4%の料金改定との記載だと9年度からは今の1.2倍、2割増しの料金を市民が払わないといけないと思うのではないか。	八千代市第3次水道事業経営戦略（案）P10及びP34ページについて、改定率についても一律に定めるものではないことから、改定率の前に平均の標記を追加したことと、令和8年度予算編成を踏まえて改定率の修正を行いました。同様に八千代市第3次公共下水道事業経営戦略（案）P10,P28の修正も行いました。
3	例えば管路耐震化工事を何キロ実施すると、耐震化率が何%になるとか、その効果を実感できるような取り組みを示すと非常に住民にわかりやすいのではないか。全てを定量化はできないが、定量化して示せるものもあるのではないか。例えば管路更新率もこれくらいまで上昇させたいなど記載できるのではないか。	八千代市第3次水道事業経営戦略（案）P24の耐震化率の項目において目標値を定めるため表を追記しました。また、耐震化率を1%あたり上昇させる場合の目安の延長を追記しました。八千代市第3次公共下水道事業経営戦略（案）P21の下水道管路施設の耐震化において目標値を定めるため表を追記しました。
4	DXの推進でデジタル技術を活用すると市民は具体的にどのような利便性があるのか。この箇所が非常に短い説明なので、何か具体的に想定しているか。	八千代市第3次水道事業経営戦略（案）P25の(4) DXの推進、八千代市第3次公共下水道事業経営戦略（案）P22の(5) DXの推進の項目について、具体的な取組内容について例を挙げてわかり易く標記しました。
5	国の方が示している素案からすると抜けてると思うのは、ソフトの部分ではないか。例として、住民サービスのところで広報だけでは足りないのでないのではないか。	八千代市第3次水道事業経営戦略（案）P30の(8) 水道料金等の納付方法の拡充、八千代市第3次公共下水道事業経営戦略（案）P23の(9) 下水道使用料等の納付方法の拡充について追記しました。